

令和3年度 子ども大学しき

1 実施体制

子ども大学しき	学長	志村 二三夫（十文字学園女子大学学長）
	副学長	柚木 博（志木市教育委員会教育長）
子ども大学しき実行委員会	実行委員長	木下 武久（NPO 法人アンサーズネット）
	実行委員 （関係団体）	NPO 法人アンサーズネット、十文字学園女子大学、志木市教育委員会

2 事業内容

開催期間	令和3年11月14日～令和3年11月14日			
参加者数等	定員	30名程度	応募者数	39名
	参加者数	4年 18名	修了者数	4年 18名
		5年 9名		5年 9名
		6年 6名		6年 6名

3 実施内容

1日目	開催日時	11月14日（日） 10:00～11:30	写真 
はてな学	会場	志木市民会館パルシティ	
	講義名	「マイナス35度の南極ってどんなところ？南極を知ることは地球の未来を知ること？」	
	講師	ミサワホーム株式会社 南極クラス担当スタッフ 井熊 英治 氏 他アシスタント2名	講義を受ける学生とスタッフ

4 新型コロナウイルス感染症対策（工夫した点や苦慮した点など）

- ・例年3日間開催をしているが、1日のみの開催とした。
- ・換気の為、講義中は出入口と窓をすべて開けていた。
- ・今回、定員を30名程度と設定し、大幅に超えた場合抽選をすると周知したが、会場と申込者数を考慮し、抽選を行わなかった。結果、6名がキャンセル、33名が参加となった。
- ・受付時、検温・消毒・マスクの着用をし、出欠簿の作成、個々の名札を配り、学生の席を把握した。
- ・180名収容の会場を使用し、長机1つあたり2人で使用した。講師・スタッフを含め、52名で開催した。
- ・入学式と修了式は中止。
- ・例年集合写真を撮影しているが、顔出しパネルを作成し、個別で撮影をした。
- ・保護者の見学はお断りした。
- ・児童が大声で会話をしたり、密になりやすいので、注意を払った。

5 参加者の声

参加した子供の声 (感想)	<p>参加者33名のアンケート結果</p> <p>満足度</p> <p>27名(82%)がとても満足、5名(15%)がすこし満足、0名(0%)がつまらなかった、1名(3%)が未回答。</p> <p>「なるほどと思ったり、心にのこったことが多かった」と回答した方が29名で、印象に残るような講義ができたと考えられる。特に南極で実際行われている実験の映像や、ペンギンが凶暴だということが印象に残ったとのこと。</p> <p>また、「来年やってほしい学習」を伺ったところ、特に多かったのが、「宇宙について」と回答した方で11名。来年度の子ども大学に活用していきたい。</p>
保護者の声 (感想)	